

## 結 果 の 要 約

1 神奈川県15歳以上人口7,568,403人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は4,563,933人で、前回調査の平成12年に比べ104,909人、2.4%増加している。男女別にみると、男性は2,811,388人、女性は1,752,545人で、平成12年に比べ男性は0.3%、女性は5.9%それぞれ増加している。

労働力率( )は62.4%で、平成12年に比べ0.1ポイント低下している。また、男性の労働力率は77.4%、女性の労働力率は47.6%で、平成12年に比べ男性は1.0ポイント低下、女性は1.1ポイント上昇している。

( )15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

2 就業者数は4,314,535人で、平成12年に比べ69,264人、1.6%増加している。男女別にみると、男性は2,645,515人、女性は1,669,020人で、平成12年に比べ男性は0.7%減少、女性は5.5%増加している。また、65歳以上の就業者数は282,155人(就業者数の6.5%)で、平成12年に比べ25.1%増加している。

3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は3,872,393人(就業者数の89.8%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は333,814人(同7.7%)、家族従業者は107,531人(同2.5%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は0.8ポイント上昇、自営業主は0.4ポイント低下、家族従業者は0.3ポイント低下している。

4 就業者数を産業大分類別にみると、「サービス業(他に分類されないもの)」が746,337人(就業者数の17.3%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」が740,988人(同17.2%)、「製造業」が677,906人(同15.7%)、「建設業」が344,157人(同8.0%)、「医療、福祉」が326,899人(同7.6%)などとなっている。

5 就業者の平均週間就業時間は40.9時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ43.6時間、26.1時間、役員は44.2時間、雇人のある業主は47.8時間、雇人のない業主は39.3時間となっている。

6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は817,081世帯(夫婦のいる一般世帯2,095,659世帯の39.0%)で、平成12年に比べ45,428世帯、5.9%増加している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は558,431世帯(同26.6%)で、平成12年に比べ18,329世帯、3.4%増加している。

7 県内に在住する外国人就業者数は55,799人で、平成12年に比べ7,470人、15.5%増加している。

図1 神奈川県労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

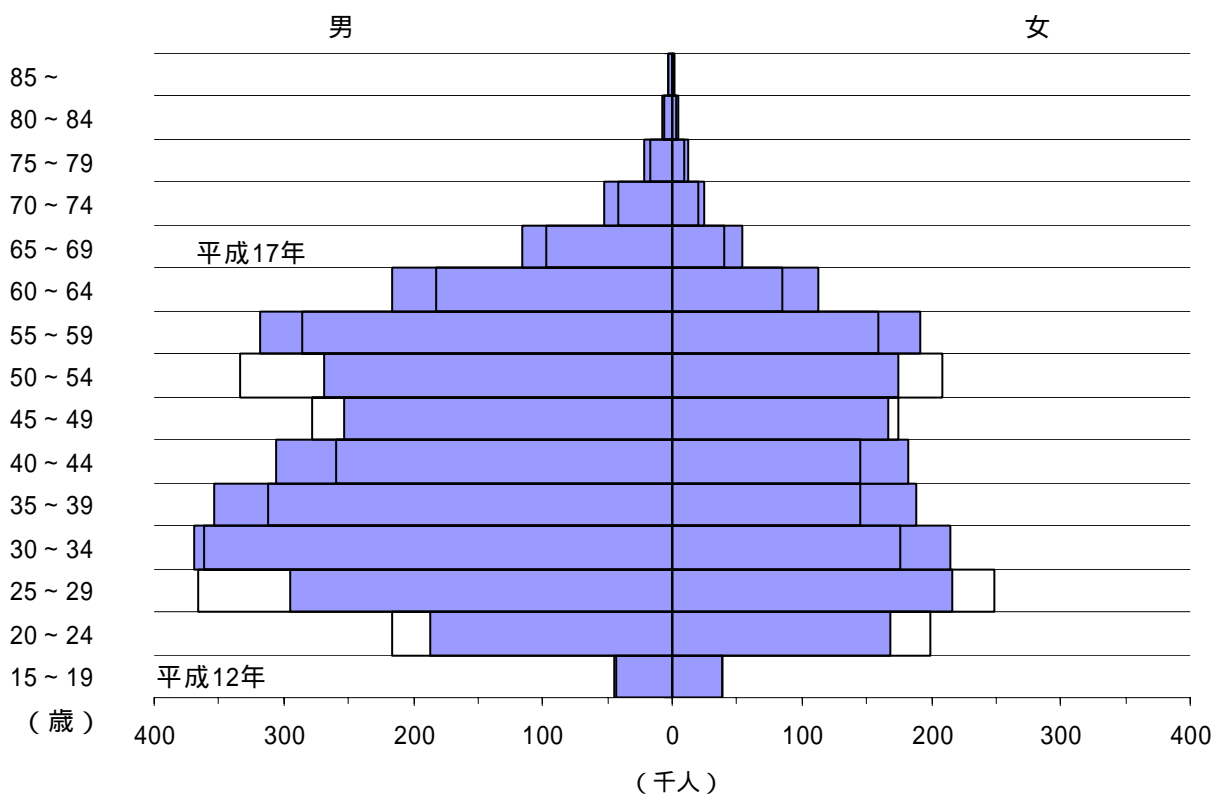
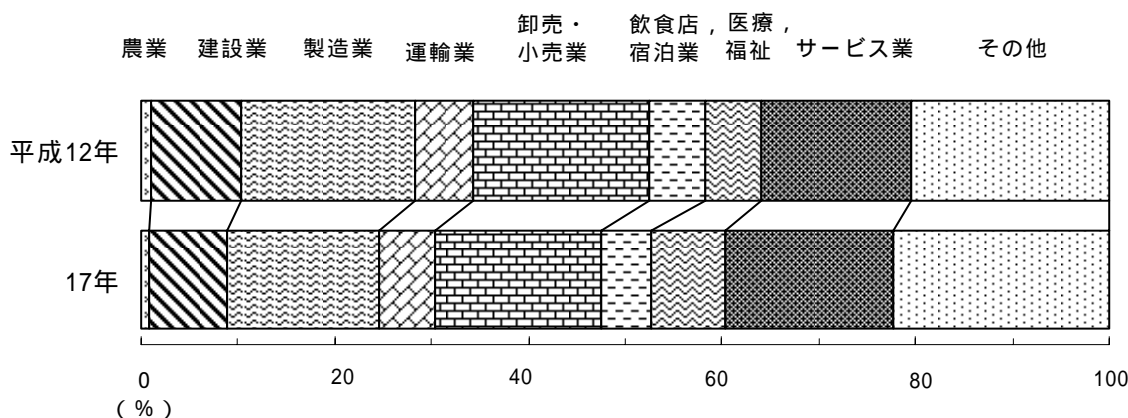


図2 神奈川県産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



（注1）「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務（他に分類されないもの）」及び「分類不能の産業」である。

（注2）平成12年は、日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。